

議会全員協議会

11月21日

○県立薩南病院の移転建替えに関する要望書

県がH31年度に基本構想を作成するにあたり、場所や規模について検討されることから、移転建替えの場所として南九州市を検討いただくよう県知事に要望。

○太陽光発電設備の設置に伴うシラス対策事業の補助金返還

22年度から28年度にかけて団体営農地開発事業（シラス対策事業）を実施した川辺町大田尾地区の一部に太陽光発電設備を設置するため、設置者の負担により補助金を返還するもの。

○組織再編について

行政規模にあった組織となるよう課・係の再編を行う。職員数390人、農政課と畜産課を統合。特政平和会館館長が文化財課長を併任。知覧・額娃教育振興係が本課に集約。係の統合は、農政係と経営体育成係、畜産管理係と畜産振興係、農委農政係と農委農地係、教育総務係と学校再編係、学校給食センターの管理係と業務係、文化財課の管理係と文化財係をそれぞれ統合し、市民生活課に再生エネルギー係（仮称）を新設。



整備された排水路

○夢・風の里アグリランドえいの今後の方針

活用方法について活用検討委員会等で検討した結果を市長へ報告。報告内容は、検討結果に基づき再活用策を検討し、事業者の公募を行うこととする。

○予約型乗合タクシー（デマンド交通）の試験運行について

本市を運行するひまわりバスの利用者が減少傾向にあり、特に自治会内を運行する生活交通バスは、平均乗車人数が10人を下回る路線も見受けられることから予約型乗合

○光ブロードバンド（光回線）整備について

補助事業で整備された施設は、今後、国・県と調整を行い、処分の方針が固まり次第、具体的な再活用について検討していく。

○南薩地区衛生管理組合の火葬事務における共同処理からの離脱について

本市は、一部光ブロードバンドサービスが提供されているが、残る地域は現在のところ提供の予定がないことから、整備費用の一部を市が負担し、今後3年かけ整備を図っていく。31年度瀬世局（84局）、32年度勝目局（57局）青戸局（39局）、33年度松山局（85局）塩屋局（86局）の予定。

○南九州市立幼稚園のあり方についての答申

市立幼稚園（額娃幼稚園、知覧幼稚園）は、当面の間は継続運営が基本。



休業中のアグリ温泉

12月21日

○アグリ温泉の現状について

ろか器、泉源ポンプが故障し、休止状態となっている。修理する場合、多額の経費がかかる。また泉源ポンプの製造だけで7カ月かかる。

議員定数等調査特別委員会の報告

議員定数は20人で現状維持

平成30年6月29日、南九州市議会は議員定数等調査特別委員会を設置しました。委員会は7月12日、8月10日、11月1日の3日間開催し、本市にふさわしい議員定数について他市との比較を行うなど、慎重に調査検討しました。4人減の16人、2人減の18人、現状の20人、4人増の24人とする意見に分かれ、協議の結果、定数は現状維持の20人とすることに決まりました。

県内19市の議員定数の状況

番号	市名	人口(人)	議員定数	前回定数 26年4月
1	鹿児島市	597,798	45	50
2	薩摩川内市	94,676	26	26
3	鹿屋市	102,956	28	28
4	奄美市	42,237	22	24
5	枕崎市	21,255	14	16
6	いちき串木野市	28,406	16	18
7	阿久根市	20,371	16	16
8	指宿市	40,635	20	20
9	出水市	52,977	20	24
10	伊佐市	25,883	18	18
11	南さつま市	34,429	18	20
12	霧島市	125,318	26	26
13	西之表市	15,507	16	16
14	垂水市	14,812	14	16
15	日置市	48,518	22	22
16	曾於市	35,194	20	20
17	志布志市	30,727	20	20
18	南九州市	35,117	20	22
19	姶良市	75,872	24	24
計		1,442,688		
平均		75,931		
人口規模類似市平均		36,644		

平成30年7月1日現在 南九州市議会調べ

＜4人減の16人とすべき主な意見＞

- ・人口2000人当たり1人の議員が妥当。通年議会にして議員活動に専念すべき。

＜2人減の18人とすべき主な意見＞

- ・人口減少の中で議員も少数精鋭で議論していくべき。地域の地区割りに関係なく議員活動をすべき。

＜現状の20人とすべき主な意見＞

- ・議会制民主主義の仕組みの中で議員定数を減らすことは自らその機能を縮小する事とならないか。これから市政の重要な施策が多く出てくる。できるだけ定数は減らさず議会のチェック機能を果たしていくべき。
- ・今後若い世代や女性立候補の増加が予想される。議員の定数を減らすことは門戸を狭めることになる。
- ・人口減少しているが面積は変わらない。地域の中で市民と議員との関係性は大切。
- ・議員が少なくなれば市民からの声は届きにくくなる。

＜4人増の24人とすべき主な意見＞

- ・合併して定数削減が続いている。市政に市民の声が反映されているか疑問だ。

＜その他の意見＞

- ・パブリックコメントやアンケートなど、市民参加を求めるべきだ。
- ⇒「議員定数については議員の考えで決めるべき」として実施しないことに決定。